

1) 1年Y君

私にとって今回の Empowerment Program はかけがえのない財産となりました。今回の Empowerment Program で得たことを今後の学校生活に限らず、今後の人生に存分に生かしていきたいと思います。この 5 日間で、私はたくさんの経験をすることができました。まず自分が得たことは、英語力です。具体的には、4 技能の Reading, Listening, Writing, Speaking です。日々行われたディスカッションやその他の活動の中で、ネイティブの方々の支えがあってとても良い時間を過ごすことができました。やはりネイティブの方々と話す機会はとても貴重なのでとても良い経験をする事ができたと思っています。その集大成が、最終日のプレゼンテーションです。私は、この Empowerment Program に参加する前は、なかなか自分の思いを表すことができず、とても悔しい思いをしていました。しかし、最後のプレゼンテーションでは、多少自分の語彙力や文法力で苦勞することはありましたが、5 日間前とは遥かに変わった自分をとても嬉しく思いました。

次に自分の気づいたことですが、このプログラムに参加して改めて気づいたことは、自分の英語力の低さです。これまで授業の中でも痛感することがありました。しかし、実際にネイティブの方々と実際に話してみても、自分の考えが伝わらなかつたり、自分の考えを完璧に伝えられなかつたりしたとき、とても悔しいと思ったのと同時に、いつか絶対ネイティブの方々と普通にしゃべれるようになりたい、と強く強く思いました。最後に、自分の中での変化について。自分は、この Empowerment Program に参加する前は、正直テストのため、そして受験のために英語を勉強する。この程度にしか考えていませんでした。しかし、この Empowerment Program に参加するとこのような考え方はいかに寂しいものかが分かりました。英語は、より多くの人々のことを知ることができるツールであり、自分の世界を広げてくれるアシスタントともなることが分かりました。以上のことから、今まで以上に英語を頑張る。勉強し自分のものにしていきたくて強く強く思いました。また、この 5 日間に参加し、この短い期間で 4 技能を確実に、また着実に自分の成長を感じることができました。

最後に、次回参加しようと考えている人へ。このプログラムに参加した全員が成長できるプログラムになっています。私は、英語が苦手です。初日は英語を言葉に出すので精一杯でした。しかし、グループリーダーの方々は、誰一人として見捨てることなく、1人1人から言葉を引き出そうとして下さいました。そのおかげで、最終日の「コロナとの共生」という自分にとって少し難しいディスカッションでも、意欲的に参加することができました。英語ができないから、英語が苦手だから、と Empowerment Program への参加を躊躇している方。そのような理由で諦めないで下さい。とても大きなチャンスを逃します。英語が得意な方や、英語が好きな方はもちろんのこと、英語力を上げたい、英語を好きになりたい、英語に少しでも興味があるという方もぜひ参加してみてください。とても貴重な体験ができ、そして自分の財産となり、これからの世界観を変えてくれます。

2) 1年Mさん

私がこのプログラムを通して学んだ事は沢山ありますが、特に伝えたい事は2つあります。

1つ目は、全員が特別な存在だということです。My Identityについてディスカッションをした時に、みんなそれぞれ違う良い所があって、全く同じ人は存在しないからみんな特別な存在だということを知りました。今まで自分より何かが優れている人が羨ましくて、何で自分はあの人みたいになれないんだろうと思うことがありましたが、他の人と自分を比べる必要はないんだということに気づき、もっと自分を好きになろうと考えるようになりました。この経験を通して、「みんなちがってみんないい」という金子みすゞさんの言葉が頭に浮かび、深く共感しました。これからこの言葉を大切に生活していこうと思います。

2つ目は、自分の意見を伝えることは楽しいということです。このプログラムでは、常に自分の意見を言う機会がありました。私が意見を言った時、グループリーダーの皆さんが良い反応をしてくれたり、ポジティブな言葉をかけてくれたりしました。だから私はもっと意見を言いたいと思え、私もグループリーダーのように人を前向きにさせるような言葉をかけられる人になりたいと思いました。そして、私が一番楽しかったのはみんなの前でプレゼンテーションをしたことです。自分の英語が伝わったのも嬉しかったし、自分の意見を沢山の人の前に伝えられた事に大きな達成感を感じました。今まででも多くの人の前で発表する機会は多く経験してきたけれど、こんなに楽しんで発表できたのは初めてでした。この経験を通して自分に自信をもてるようになりました。私が思うこのプログラムのいい点は英語が上達するだけでなく、身の回りの問題や自分自身について深く考えることができる点です。英語を話すことも上達するけれど、人としても成長できるプログラムだと思います。

3) 1年Aさん

この5日間でたくさんのグループディスカッションをし、プレゼンテーションを行いました。様々なトピックを扱う中で、私が特に印象に残っているのはポジティブシンキングについてです。私はそれまでとてもポジティブシンカーとは言えませんでした。プログラムの中で気持ちを切り換えるように意識するようになりました。プレゼンテーションが上手にできなかった時、次こそ、と思うと、2回目は上手にできて、それがモチベーションに繋がりました。今では私もポジティブシンカーだと、自信をもって言えます。また、プレゼンテーションをする機会が以前学校でもありましたが、その時も上手にできず、苦手意識をもっていました。最終日のプレゼンテーションも本当に緊張していました。でも5日間でたくさんプレゼンをしてきたことも自信になり、グループリーダーの方も優しい言葉をかけてくださって、十分ベストを尽くせたプレゼンになったのではないかと思います。今ではしっかり相手の目を見て、自分の気持ちを話すことができるし、プレゼンをすることが好きになりました。プログラムの中で得たものは計り知れません。こんなに充実した5日間になるとは、当初思ってもみませんでした。グループリーダーたちの姿勢をみて、自分の勉強を頑張ろうとよい刺激を受けました。いろんな言語を学んで、世界を知って、いろいろな人に出会いたいと思うようになりました。自分の未来への指標が定まったかな、と思います。

4) 1年M君

私はこのプログラムを通して多くのことをグループリーダーやチームメンバーから、また多くのプログラムを通して学ぶことができました。その中でも最も学べたことはmy identityについてです。この活動を通して私はある気付きを得ることができました。それは私のアイデンティティの核がある生き物の研究であることです。私はもともとクラゲが好きで実際に多くのことに関わり将来も研究をしていきたいと考えていましたが、自分は何のために多くのことに挑戦し、勉強し、成長を求めているのかわかりませんでした。しかし今回このアクティビティの中で、グループリーダーが私に「君のアイデンティティの核はクラゲであるね!」と言われ、そこで多くのことがクラゲから派生していることが自分の中ではっきりとわかり、自分とは何かははっきりとわかりました。

このことが今後の自分にどう影響するのか、それにはっと気づかされました。自分のアイデンティティ、つまり自分の核が何かははっきりしたおかげで。部活や日々の生活の中で何をすべきか、どう進むべきかを考えるとき自分の「クラゲ」を基準にして考えていこうと思っています。例えば自分は「クラゲ」をもとにクラゲの研究者を目指したいと考えているのですが、そのために私は東京海洋大学に進学したいと考えています。そのための道しるべとしてこの「クラゲ」を用いることで、例えば次のテストで頑張る理由について今までのでたらめに気合の精神でやる必要があるからという他人だよりな理由ではなく、より明確にクラゲにもっと自分のアイデンティティにつなげられるような研究者になりたいからだ!という強い信念とともに真っすぐと進めるようになったと思います。実際に今はものすごく充実した勉強ができ、着実に進めれていると思っています。

《3. 後輩や同級生に伝えたいこのプログラムのメリット》

私が後輩や同級生に伝えたいこのプログラムのメリットはまず人間として、短時間にして大きく変わることができるという点です。1, 2でも紹介したのは一部ですがこのプログラムでは多くのことについて考えるアクティビティ(アイデンティティ、リーダーシップとは、ポジティブシンキングとは、学ぶのはなぜかなど)があります。それについてグループの中で自由に発言することができ、グループリーダーもまずit's good!など肯定してくれ、自分の意見を尊重しながらアドバイスやいろんな例、自分の意見などを国際的な視点で教えてくださり、これまで以上に楽しく成長しながら深く深く考えることができこのことが一つのめりっどだとおもいます。実際に自分もいつも以上にアクティブに話すことができ自分一人では考えられない境地まで考えることができました。次に自分が伝えたいメリットはいつも以上に英語を使うことで気分かもしれないけど英語に自信がつき、これからの勉強の意欲へとつなげていける点です。あくまでも自分主観の意見ですがこのプログラムの中で簡単なフレーズから多様に日常生活で多くつかうようになり、もっと多くしゃべりたいと思うようになったり、まだ始まっていませんが今年度の授業が楽しみで仕方ありません!ここまで学びの動機がついたことはなかったと思うものすごくいい点だと思っています。最後に自分が伝えたいメリットは人とのかわりを作ることができるという点です。自分はこのプログラムで多くの人の前で発表したりグループの中で話し合いをしてきました。その中の人々は自分と同じようにやる気や夢を持ってきたと思うし、特にグループとして互いに意見を出し合い、成長してきたのはきっとこれからの学校生活や多くの中で信頼できるひとを増やすことができたとと思います。

5) 1年Kさん

このプログラムを通して学んだことは大きく2つあります。

一つは、「あきらめないこと」です。グループで話し合うとき、うまく表現できず、黙ったまま凍り付いてしまったことがありました。しかし、周りの人を見ると、うまく表現できなくても、あきらめずに自分の中にあるものを絞り出して、なんとか簡単な英語で伝えようとしている姿勢が見えました。そこで、私も同じようにしてみると、グループリーダーの留学生にちゃんと伝わり“Great!”と言われるようになるまでになりました。本当に嬉しかったです。

もう一つは、“Positive Thinking”です。参加する前は「私なんて・・・」とネガティブに考えることが多く、初日も同じようにネガティブに考えていました。しかしこのプログラムの活動を通じて、日に日に上達していくことが実感できて、「私にもできんだ！」ということが証明でき、Positive Thinkingの大切さを学びました。

6) 1年Hさん

わたしはこのプログラムを通して本当にたくさんのことを学びました。プレゼンのスキル、英語でのコミュニケーションの取り方、ポジティブシンキング…。その中でも特にわたしはリーダーシップを学びました。

どんな人が良いリーダーなのか考えたり、グループリーダーからリーダーシップの取り方を学んだり、実際にグループリーダーのように振る舞ってみたり。リーダーシップを学ぶのにこれほど適した環境は他に知りません。お陰で自分のリーダーシップに自信を持てるようになりました。グループファシリテーターの日本の大学院の留学生にたくさん褒められた事も大きいと思います。涙が零れるほど嬉しかったです。今回学んだリーダーシップを日常生活で実践していくのが次の目標です。

7) 1年R君

私がこのプログラムを通して最も学ぶことができたことが1つあります。それは、自信をもつことの大切さです。私はこのプログラムで色々なこと（役者になる、普段の友達とも英語で話す、即興で意見をまとめるなど）に挑戦しました。その度に必要だったのが、自分はできるという自信です。グループリーダーのは私に何度も自信をもって挑戦しなさいと言ってきました。実際に彼も色々なことに挑戦して、全体も盛り上げてくれました。その姿を見て、自分もどんどん挑戦しようと思い、自らいろいろなことを率先して行いました。これからも絶えず挑戦していこうと思います。

8) 1年Yさん

私はこのプログラムを通じて、自分の可能性を見つけることができました。以前までは、人前で話すことが苦手で自分の意見をはっきりと伝えられませんでした。そんな自分に対して諦めを感じていました。しかし、このプログラムを通じて、アイデンティティやリーダーシップについて深く考えていくうちに、自分の価値観が大きく変化しました。そして気づけば、何とか英語にして相手に伝えようとしている自分がいました。上手く伝えられなくても、挑戦することがいかに大事なことが、とても考えさせられました。このプログラムでは、めったにできることのない経験をさせてもらうことができ、とても感謝しています。またこのような機会があれば、ぜひとも参加したいと思います。

9) 1年Mさん

このプログラムに参加して、私が出たものは主に2つあります。1つ目は自分を認められるようになったということです。今まで私は自分がどんな人なのか、自分のアイデンティティについて考えたことがありませんでした。そして、英語が話せなかったり、自信がなく上手く考えを表現できない自分が嫌でした。でも、このプログラムで自分について考えたり、他の人のアイデンティティを聞くことを通して、長所も短所も自分のアイデンティティなんだと気づくことができました。もうひとつは将来を考えるきっかけです。私は周りのひとが自分の夢や目標のために努力している中、自分の将来について考えられず、焦りを感じていました。このプログラムに参加して、グループリーダーや、一緒に参加したメンバーの将来の夢を聞いて、将来の目標が少しはっきりしてきたと感じています。

10) 1年Rさん

私はこのプログラムに「自分を変えたい」という思いで参加しました。以前の私は聞いた発表に対して質問ができなかったり、少しの疑問なら妥協してしまったりと消極的でした。特に英語では尚更でした。そんな自分を変えたくて強い志を持って参加しました。

この5日間を通して、「TRY」することがどれだけ大事なのかを身をもって感じました。些細なことでもグループリーダーや仲間に英語を使って聞いたことで質問されていることを答えるだけじゃなく、自分から学びに行けました。Imageプレゼンテーションを聞いた後に質問があるのとないのでは、聴衆の関心度や理解度、盛り上がりが全く違います。わずかな疑問や提案が何かの発端になるかもしれません。そんな小さいことでも相手に伝えることによって会話ができるので、失敗を恐れずに勇気をもって挑むことが大切だと気が付きました。即興で話すとき、文法が不安だと打ち明けたら、「Don't be afraid. It is ok. Don't worry.」と励ましてくださって、自分を信じてどんどんコミュニケーション取ろうという次への自信になりました。

また、グループリーダーの皆さんは人間的なスキルも高く、なかでもあるリーダーの方の言葉が強く印象に残っています。それは4つのスキル（People skills, Money skills, Travel, Learn something new）です。毎日が刺激的で本当に挑戦してよかったなと心の底から思います。

次年度参加者のみなさん、プログラムでの目標を掲げておくといいと思います。そうすることで、反省や、自分がどうしたらいいかがはっきりと分かります。毎日楽しんでください！うまくいかないことがあっても、大丈夫です。失敗を恐れずに積極的に参加することで、より濃いものが得られるでしょう。TRY！TRY！TRY！

11) 1年Cさん

私は元々英語が好きで、頑張りたいという気持ちで参加しました。でもいざ初日を迎えると緊張と自信のなさから気持ちも小さくなりこの5日間やり通せるのか不安が募りました。こんなことを言ったら変かな、何と訳せばいいのかわからない、こんなことが先に頭によぎり、なかなか自分の意見をいうことができませんでした。positive thinkingやmy identityについて学んでいくうちに、失敗することは恥ずかしいことではないと改めて気付かされました。なぜなら黙っていて何も始めなければ、何も生まれませんからです。難しくても表現しようとする姿勢が重要だと感じました。そうすればグループリーダーがフォローしてくれて感じ取ろうとしてくれました。

また、人はそれぞれ自分のidentityを持っているから自分の意見に自信を持つべきだと思います。素直に思ったことを伝えようと努力した時、グループリーダーが褒めてくれて嬉しく感じましたし、他のメンバーの意見から学ぶことも面白いと思うこともたくさんあって、自分の刺激になりました。

12) 1年Nさん

このプログラムの中でグループリーダーたちは私たちの隠れた能力や素質を引き出し、発揮できるように導いてくれました。同様に私も5日間、毎日入れ替わるグループリーダーからたくさんのことを学びました。具体的には、英語の発音、プレゼンテーションにおいてジェスチャーやアイコンタクトを効果的に使う方法、相手の話を聞くとときに相槌をうったり、目を見て聞いたりすることの大切さ、活発な質疑応答の面白さ、自分の英語が伝わる嬉しさ、などです。特にグループリーダー同士で交わされていた生き生きとした質問とその応答は、聞いているだけでワクワクしました。今はまだまだ発展途中にある自分ですが、いつかその会話に加わることができるような高度なレベルに達したいな、という憧れを抱きました。そして、質問をすることで発表の楽しさも増すため、積極的に質問ができるようになりたいと思いました。

また、私は英語で質問をされた時、答えられなかったら嫌だなと不安に思うこともあります。でも今回、拙い英語ではあったけれど、質問をされた時に自分の思ったことを何となく伝えることができ、楽しさと嬉しさを味わいました。そしてそのことは自分の自信に繋がりました。例えば、グループリーダーが励ましたり褒めたりしてくれたおかげで、自分は英語で自分の意見を言えるんだ！という自信ができました。

最初はグループリーダーや他の参加者の子と5日間でこんなにも仲良くなることができるとは思っていませんでした。色々なことを話してお互いを知り合った時の楽しさは、かけがえのない思い出として、私の心に刻まれました。期待以上の経験ができたため、本当に本当に参加して良かったです。

13) 1年

このエンパワーメントプログラムに参加することができ自分自身をレベルアップできたこの5日間の経験を私は忘れません。自分の中の変化は2つあります。

1つ目は積極的に行動できるようになったことです。例えばグループディスカッションでは、自ら質問したり、意見を述べたり、「私から発表します」と手を挙げるなど、自発的に活動できました。初日はグループリーダーに、いつあてられるか、びくびくしていた私を振り返ると、とても大きな変化の一つだと思います。

2つ目は、あまり間違いを恐れずとにかくトライすることができるようになった点です。話し合い中に黙ってしまったら何も伝わらないと気づきました。ジェスチャーでも絵でも、単語だけでもいいから伝えようとする意志が大切なのです。この5日間で「日本語で考え、英語を組み立て、頭の中で文を構成してから話す」というこれまでのプロセスから、「とにかく思いついたら、それお英語や身体で表現し、話しながら英語を組み立てる」というプロセスに少しなってきたような気がします。自分でも変化が感じられたのはうれしいです。

14) 1年Yさん

一日ごとにグループリーダーが交代することで、多種多様な文化を学ぶことが出来ました。そして、グループリーダーの方々の積極的な体制を見て、私も自分の心の殻を破って楽しく自分の意見を伝えることが出来たと思います。

日に日に成長していく自分が生で感じられ、「私ってこんなに積極的になれるんだ！」と感動しました。ひとつの部屋に、年齢も文化も性格も異なる個性豊かな人達が集まり、じっくりと関わる経験はなかなかないと思います。この経験を生かし、私自身もっとステップアップしていきたいです。

15) 2年Yさん

私がこのプログラムを通して得られたものは新たな価値観です。このプログラムではポジティブシンキング、リーダーシップ、自分自身のアイデンティティなどについてどのように考えるかという問い等がテーマとして挙げられていました。これらは全て答えがないものです。一人ひとりに違った答えがあります。それらについて英語で必死に説明しているうちに自分の中にある今まで知らなかった自分自身の考えを見つけることができました。それら一つ一つに留学生はコメントをしてくれ、互いに意見を交換しているうちに考えが深まっていきました。普段ここまで自分自身について考える機会がないので新鮮でした。また、「あなたにはあなたのいいところがあるよ！」と留学生がコメントしてくれ「私の良さ」について悩んでいた私にとってとても救いになりました。

このプログラムで改めて海外の方と英語で話す楽しさに気付きました。世界には日本人と違った価値観を持っている人がいっぱいいるんだなあととてもワクワクしました。それに加えて完璧ではない不完全な自分の英語も一生懸命理解しようとしながら沢山話しかけてくれる留学生の優しさに触れてとても心が温まりました。自分の限界ギリギリに挑戦できたとても印象的な5日間でした。

次年度参加される皆さんへ

英語に自信がなくても構いません。挑戦し次につなげることが1番重要です。やる気と英語が好きな気持ちがあれば乗り越えられます。このプログラムは英語で話すことだけでなく、プログラム内容やディスカッションする内容も自分を見つめ直す良い機会となるのでやって損する事は絶対ないと思います。存分に楽しんでください！！

このたびは半田高校同窓会の皆さまのご支援のおかげで新型コロナウイルスによる影響で海外の方と接することが難しいなか、エンパワーメントプログラムを通して海外の方と接せられる貴重な経験をさせていただけました。誠にありがとうございました。